

学校名	海陽町立宍喰小学校
授業者	尾崎啓明

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

大好き宍喰プロジェクト

1-2. 学年

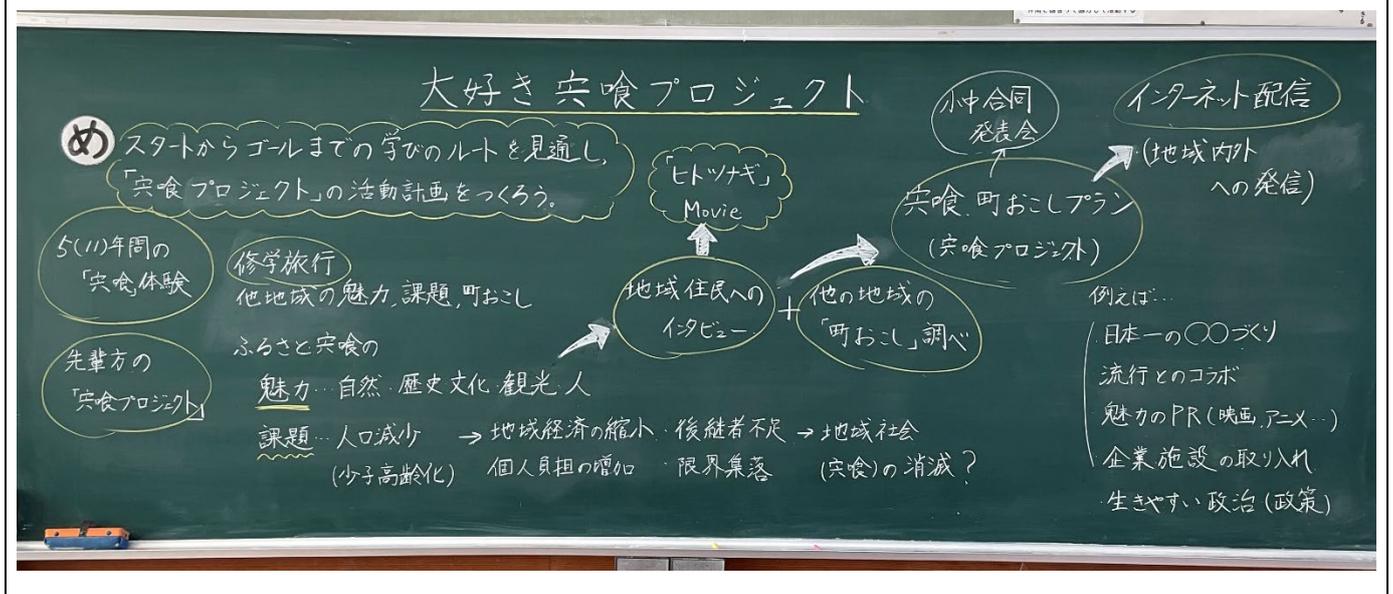
6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- (1) オリエンテーション（活動計画の立案）
- (2) 「マチシラベ」
 - …これまでの宍喰における自然体験や調べ学習をもとに、宍喰について深く調べてまとめる。
- (3) 「ヒトツナギ」
 - …地域の人々に「未来に宍喰について」の考えをインタビューし、メッセージ動画にまとめる。
- (4) 「ミライチズ」
 - …調べ学習や聞き取りをもとに、宍喰の「町おこしプラン」を考える。
- (5) 地域内外への成果発表（小中合同総合学習発表会・ケーブルTVでの取組放送）
- (6) 活動の振り返り



1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、これまでに生活科や総合的な学習の時間を通じて、宍喰での体験活動や調べ学習を重ねてきた。そこで、6年生では、ふるさと宍喰の魅力や課題に気づき、地域の未来を考える「町おこしプラン」を提案する。そのなかで、地域の豊かな自然を生かした体験活動や地域を支える人々との交流を通して、地域への愛着を深めるとともに、地域を担う一員としての自覚を深める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 調べ方を工夫し、見通しをもちながら計画的に情報を集める。
- (2) 地域の魅力や実態を見つめて自ら課題を設定する。
課題解決を目ざして事象を比較したり関連づけたりして考える。
自分の考えを相手に分かりやすい表現方法でまとめたり伝えたりする。
- (3) 学びをもとに、地域のために自分にできることや将来の生き方を考え、実践しようとしている。
友だちや地域内外の人、地域の自然環境とかかわり、自分のものの見方や考え方を深める。

1-7. 単元の展開 (全 35 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宍喰の魅力と課題」をテーマに気づきや疑問から「学びングマップ」にまとめて、学習課題を設定する。 	<p>【教師の指導】</p> <p>「ウェビング」の手引きで領域や観点を提示して、意見を引き出す。</p> <p>…これまでの体験や学習をもとに、宍喰の町おこしプランを考えるという学習課題へと導く。</p> <p>…学習計画を表で提示し、単元の見通しや学習意欲をもたせる。</p>
14	<p>【マチシラベ】(宍喰の自然体験・調べ学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験や調査活動を通して、地域活性化への取り組みや現状について調べる。 <p>※シーカヤック・スノーケリング・釣り 海の施肥事業・藻場再生事業 など</p>  <p>○他地域の現状調べ(修学旅行・インターネット)</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導でめあてを意識し活動に取り組みさせる。 ・振り返りの視点を示し、問題などに気付かせる。 ・各班の課題に応じた資料や活動例を助言する。 ・タブレットを活用して調べ学習をさせる。 ・自分の地域と比べながら調べるように促す。 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸少年自然の家職員…スノーケリング体験 ・マリンジャム職員…シーカヤック・シュノーケリング ・中島茂範氏(牟岐少年自然の家海洋環境学習アドバイザー) …アオリイカの解剖・イカ墨絵体験 ・宍喰漁協・海陽町産業観光課職員 ・岩瀬文人氏(四国海と生き物研究室) …海の施肥事業 <p>【主な評価】</p> <p>思考・判断・表現</p>

<p>6</p>	<p>【ヒトツナギ】(地域住民の思いを繋げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の思いを聞き取り，メッセージ動画にまとめる。 <p>①地域住民へのインタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業・観光業従事者 ・これまでの活動でお世話になった方々  <p>②動画編集・作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードリレー形式でまとめる。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今の宍喰の現状をどう捉えているか」「どんな町になって欲しいか」などについて聞き取る。 ・調査や体験で出た疑問を，地域住民に質問させる。 ・相手先との調整や連絡の準備をする。 ・人々の取り組みに対する思いを聞き取らせる。 ・タブレット端末を活用し，撮影・編集させる。  <p>【主な評価】</p> <p>思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>4</p>	<p>【ミライチズ】(町おこしプランの提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや聞き取りをいかし，ふるさと宍喰の「町おこしプラン」を考える。 <p>①「町おこしプラン」作成</p> <p>②プレゼン発表資料作成</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて気付いた宍喰の魅力や課題を考慮したり，聞き取った地域住民の思いを反映させたりする。 ・実態に応じた，具体的なプランを考えさせる。 <p>【主な評価】</p> <p>知識・技能 主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>8</p>	<p>【成果発表・学習のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をまとめて，地域内外に学習の成果（プレゼンテーション）を発表する。 <p>①小中合同総合学習発表会</p> <p>②ケーブルTVにおけるプレゼン発表の放送</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り，今後の活動や地域との関わり方について考えを深めてまとめる。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習をいかし，伝え方を確認させる。 ・作り方の手引きやモデルとなる例を提示し，作成の見通しをもたせる。 ・より伝わりやすい発表の方法を指導・助言する。  <p>【主な評価】</p> <p>思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元初めと比較させたり振り返りの観点を示したりして，学びを自覚させる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目 ※それぞれの自然体験+インタビュー活動

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 海の体験活動を通じて、ふるさとの自然の豊かさやそれらを生かした観光業の良さに気付く。
- 地域の自然を守り生かしている方々の思いに触れ、地域住民として自分たちにできることを考える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / □評価の視点（方法）
<p>1 これまでの学習活動の振り返りから、本時の学習のめあてをもち、体験活動や聞き取り調査の計画を確認する。</p> <p>2 体験活動やインタビュー調査をする。 （例）「シーカヤック・シュノーケリング体験」 ①活動内容や注意点の説明を聞いて確認する。 ②シーカヤック体験をする。 ③シュノーケリングで、昨年自分たちが移植したサンゴの観察をする。 ④マリンジャム職員の方にインタビューする。 ・海のレジャーの素晴らしさ ・サンゴの保全活動の意図 ・未来の食糧への思い など</p> <p>3 活動の振り返りをして、感想を交流する。 ・友達や職員の方と感想を伝え合う。 ・活動の振り返りを文にまとめる。</p>	<p>○単元のめあてやこれまでの学習の流れを押さえ、本時の学習のめあてや見通しをもたせる。</p> <p>○自分なりに活動の見通しをもたせたり、職員の方に質問させたりできるように関わる。</p> <p>○昨年度からの活動を想起させ、活動や思いの繋がりを意識付ける。</p> <p>○事前に相手先との調整や連絡の準備をする。 ○調査や体験で出た疑問を質問するよう準備させる。 ○人々の取り組みに対する思いを聞き取らせる。 / 知識・技能（観察）</p> <p>○手引きを用意したり視点を確認したりするなかで、振り返りを支援する。 / 思考・判断・表現（観察・ワークシート）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・自然豊かな宍喰に育つ子供たちにとって、自然や地域全体の魅力や課題、それらに関わる人々の思いに触れるきっかけづくりとなった。
- ・活動を通じて、子供自身が、地域で生きる、地域を担う当事者として学習を進めることができた。
- ・体験活動や保全活動、インタビュー活動を通して、地域の方々と交流するなかで、思いを受け取り、自分の考え方や生き方を深めるきっかけとなった。
- ・体験活動の際に、体験の位置づけ（目的意識）や事前・事後の活動を充実させることで、有意義な活動となった。

4. 今後の課題

- ・体験活動に携わってくださる関係者の方々についてのリスト（総合学習人材リスト）を作成しておくことで、年度や担任が替わっても学習活動をスムーズに始められる。特に、地元教員の減少が予想される本校のような学校には必要不可欠である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし